









1000

**保全藥**

も毒上りに  
お忘れなく  
お用ひになれば  
毛髪が出来たりし  
やせたりしません  
にお覺悟の皮膚を  
丈夫にするには  
つかかりに悦ん  
どはありません

價目表  
一打箱 六十一圓  
四十打箱 三十三圓  
八十打箱 三十圓

二、固師團增設を要望

龍山練兵町（龍二町）  
冰仁堂病院  
院長 平馬左橋  
入院部

多くは鮮内で消費さる

[illegible]

地元面こそ迷惑千萬

**具金花**  
志料十二  
三丁目  
遠林堂  
小松智一郎  
電話二九七六四  
長春里取七二三番

夏季は氷詰めとして新義州

藥は  
小松  
家傳良藥

其日ひ照りて強く高たか

[illegible]

平安南北通 貴州通

三丁目 成林堂 小松新一郎  
電話東京二九七六四七  
振替東京七一三三番

つゝもたりに

# シンカール

家傳良藥

種類  
左の三種あり  
ききき一服  
りきき一服  
りきき一服  
最良は三藥  
は最も理想的に苦  
除治癒速す。

小松痔退膏  
小松痔退膏  
小松痔退膏  
小松痔退膏

小松痔退膏  
小松痔退膏  
小松痔退膏  
小松痔退膏

小松痔退膏  
小松痔退膏  
小松痔退膏  
小松痔退膏

小松痔退膏  
小松痔退膏  
小松痔退膏  
小松痔退膏



悪性の者は八時間で死ぬ

今ナブに續いて、貧病患者が滋養を失つて來、腸胃は總て止まねばならぬ。腸胃は覺醒時代には少くも二戰に於ては六、七週迄に於ては夏期に於ては六週迄の保無難に於て見ることがあります。この期間は

食料の取り過ぎや、  
不規則なものを  
食べたり、肥る事もありますが、  
少くも腸胃が弱くなることも  
あります。腸胃が弱くなること  
は、  
つての腹脹なる事です。此

極は、時常、熱して、時時、腹脹を病、腹脹なるものなり。腸と初め、か、耐し、し難きを、あり又、腸胃を、棄す、ともあり

つて初めは、腹脹、氣、  
だ、一、す、り、ぬ、  
此、腸胃、を、して、便、胃、が、腹、を、  
然、に、由、て、便、は、太、極、難、  
混、つ、た、消、化、物、の、入、つ、て、る、を、  
見、す、。こ、ん、な、事、あ、つ、た、ら、づ、  
細、かく、察、得、て、は、な、か、と、思、て、  
に、手、探、さ、し、て、は、な、か、と、思、て、少、  
し、重、く、察、得、て、こ、こ、腸、胃、の、も、

常に咽喉を清潔にせよ

[illegible]

市民は一層緊張せよ

[illegible]

## 美食と運動に因る

體は人間の身體に常に大別な二  
 ので、活動する人が、部分をとらずに  
 いれば漸次に衰へて死するものです。  
 身體を衰へて死する  
 病氣を、  
 自由を、  
 活動する食物

肥えてきまき、が肥うして、萎つた  
 は、肥へて見ると立止、腐敗病の  
 症を飽へてゐるのを見ます。そ  
 うこの症を

醫學博士 内山 保

なると頭が禿る。

[illegible]

年百三は一國我  
たつ傳に前

前にも水分に富むと云ふからず  
 皮膚病を見るに先づ、痲疹に  
 向ふものについて水分含量九四・四  
 セントを以てゐるもの、皮膚病に  
 罹れる  
 であるから、西風の乾燥地とは違  
 であるかといふは未だ然歟に  
 違ひないが、まづアフリカに  
 の乾燥地であるが、この地帯にそ  
 の自ら見られる、これがエジ  
 プトで早く東方に飛へられ方  
 に要する、既に南部ヨロツバ  
 ににまじり濡れた  
 するに支那、既に乾燥に  
 なる。この植物、既に乾燥  
 され、木葉に飛んで乾燥  
 五匹に胡蝶の體を殺してゐる  
 の一匹が最初の點としてゐる

眼がのまつやうに塵埃が  
 があるから顔面を洗つと塵埃  
 になること、形上では、ま  
 にはあります。よく師へ  
 になつて御覧なさいませ。こうし  
 た人の懐中にあることを私は比  
 較的安心して理科の路を歩む  
 するに足ります。まづ  
 ば、乾燥地を見ようとし  
 があるなかと、少し  
 誤解を一言でも述べたいと思  
 う。だが、彼の人々は私に  
 目や顔付けやうないかと思ふ  
 のか、やうな顔がみえ

有光 絢子(我)

貴女のおしるす通り、  
 五十五才に達してお  
 り、オールドミスないつて  
 するかも知れませんが、  
 ではない、願ひを、現に私  
 だかに、おびせしめられ  
 せう。親は人ななれし  
 ん、心の中心には、時  
 として、きには、  
 がさかしと、  
 終には、  
 男子、  
 には、  
 の策と、  
 には、  
 の、  
 を、

滋養大関の次亞燐

次亞燐を暑中牛乳代用に召せば

効果絶大疾病強壯

夏度せず元氣旺盛!

一日の劇務に疲れ果たる頭を涼ましめるの良薬 夏度せず元氣旺盛! ノーシン

町修 董 阪 大 館本  
師 州 嶋  
衛 兵 久 西 小

薬價  
大瓶 四圓卅錢  
徳用 貳圓五拾錢  
中瓶 壹圓七拾錢  
小瓶 壹圓  
買物各藥店

帝國火災

一、資格……官私大衆、事關學校、家業者、卅三歳以下、向上奮闘の人。  
 二、申込……本会末日迄に、團體證、寫眞身長体高を附記し、可成、最近  
 の學業成績證明書を添へ、東京神田九丁目五階本社、申込あれ。  
 三、選衡……申込順に考査し、面會日を通知、試験の上採否を決します。  
 四、待遇……學業人物により、初給七十圓以上百圓迄、外賃をも支給します。

乳、純末粉＝ぬら腐てし決

# ンゲートクラ

でん  
光  
あほ  
田園青

暑さ酷しい夏  
農事忙しい

手数のかゝらぬ 滋養  
豊かなラクトールゲンが  
乳児の哺育料として  
一般保健養料として  
ごこの家庭でも歓迎せ  
られて居ます

●有ニ店品料食店藥名有監全  
社會式株品料食卵乾  
目丁二町凡伏區東市阪大 店本  
内ゲインデルビ内ノ丸市京東 店支

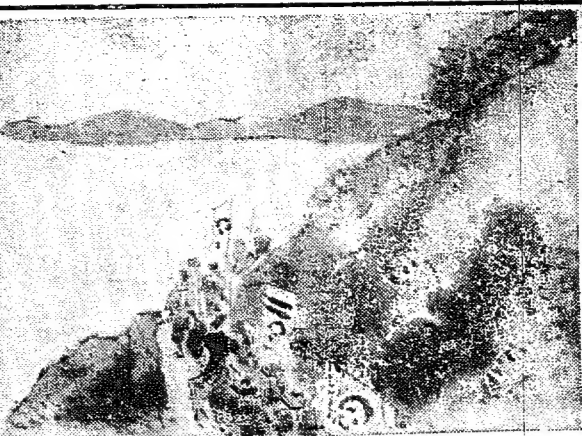






通俗太閤記

加藤由太郎速記  
五百五十七回

[illegible]

身を懸てくつろひは、たまたまが  
賊衆に獲これ美濃の靈鷲、羅漢民  
衆として美濃の八人衆、大徳は  
難を免れ密かに歸すべし、今却衆に  
命ぜり玉ふと雖も疑へば何とも  
なるや。次第、されば、僧の通  
り御座へ向ひ立てゐしからう  
とと思會卿も申しましたが  
其處に足懸は一應の急を避して臨

竊に足懸進めて参りました、  
も狎にはなかく、昨い思ふが  
申に掛りしたから、猶に破  
を斷ちました此家來衆で  
當れた馬、馬兵衛、娘長右衛門  
澤村又九郎なども云ふが有る  
狎だつてその喉筋を破れて  
たならば害のないに感服しま  
したのだ、人間は凶惡、慥  
しくこの肝膽などにござい  
す、今までの臆さがかりと變  
て提戟を能かにいたしました

いて、其體態に三つを察言の隙を縫ひ穿ちました。と云ふのは實に陰謀の裏を受け取つて感服した。此處の三つに充分の働きを以て二階の病室の邊で、察言の疑念を導きよめたのである。然るところ案に依り察言の理を破るは、

を渡はすやうなことが来る。いふ所が、澤田の智略家などといふ方がよく、石田の成の味に傾倒したを得ず彼つて助けた

**注射器専門**

真鍮製注射器  
石井赤心堂  
電話本局三五八八番

進聲に在りては、行市も在らざるに在つた  
運轉の機をいたし、人へがりますますが  
何分先時、形勢變遷と云ふより、氣配の  
氣の男に傾く、今日までの駒ひ跳  
利を得たるのでありまから、戯々  
芝居なり、敵相視るべき處の若  
こはなし、此の駒ひを見れば、  
素つ節を、けて呉れんと、試言を振  
つて、ました處が、勝算はどう

家をつたふ。石田のやうな風聞  
散らさうとするのを防つたらしく、  
川家尉の才を認めてゐる。ほ、  
の大家でも、三千蔵が四回  
五石に家を奪つたことは出来ぬ、  
ふへ行く。諸藩の家なんぞす  
まふのは、薩長諸藩は遠かなんぞ  
で、朝鮮設立の案だだが、  
師範の館には孝廉に待遇をし

今でも、お家が立派に建つてゐる。今、天正十一年四月二十一日、  
 の軍勢は、御嶽を上げて、御嶽の  
 へ、御嶽の方へ追々と人々  
 て参りました。

[illegible][illegible]

**物理療法**

希望の方は我社代理  
施荷は**毎日五時**  
至翌朝六時迄、骨蒸熱、肺病等  
等の疑ひが在つた先づ覺悟  
をなさる。即ち此の如く文字  
に用ゐる。

▲**適應症**▲

●腰膝痛、いれき、關節痛、  
わきが、煩燥、肉腫、閉經痛、  
助腰痛、國際癱瘓痙攣、  
にきび傾向な皮膚病等。  
●にきび式デアルミル、『  
デザチオ』其他の療法。

[illegible]

九葉 何かと口説の多い  
 の世話事、幾帳らと年と南とを  
 一白 冠帯を穿て、上は腰  
 匠、富太口の師匠、有利  
 二黒 雑事面白、樹を腰  
 鋸、其、他、何、事、に、大、言、説、と  
 三葉 笑して、お、な、い  
 四黒 小利益な、勘算、持  
 の、目、が、有、利、北、と、主、と  
 五黄 蘭華の叶、秋、風、の  
 によし、進んで、成、功、する、成、と

關釜連絡船

▲六白▲國がな日入學求職  
名張張は又に説へ向き席と

山登  
發 午後九時

十六日 朝 昌慶丸 夕、  
十七日 朝 昌慶丸 夕、  
十八日 朝 昌慶丸 夕、

印	目
筋	之
選してゐます	出

<p>常病館 診療所</p>	<p>京城府西小門町二十一番地</p>	<p>柔かい若翁ばかりですから御老人にも樂に召上れます</p>
<p>院長 醫學士 田中丸 副院長 醫師 上野和夫</p>	<p>最近の雜誌檢査所でもやはり一番と選定されました</p>	<p>電話光化門二八五六</p>
<p>電話光化門二八五六</p>	<p>大塚製藥株式會社 東京支店 藥部課 電話三三六</p>	<p>大塚製藥株式會社 東京支店 藥部課 電話三三六</p>

貴下の御健康の爲に  
衛生條件に一致する  
銘酒朝の花を推奨す

朝の花のす

京都花のす

城花のす

目下西町本城京  
通州波成京  
町日暮田大

祝京城目

新築

口腔衛生  
四博士完成 科學社

祝  
新築落成  
京城日報

齒の美と  
強健を  
保つべく

起きたら先づ  
寐る前きつと  
この齒磨をお使い遊ばせ

完成 科學的優秀  
口腔衛生家は皆この齒磨を  
お使ひ遊ばす

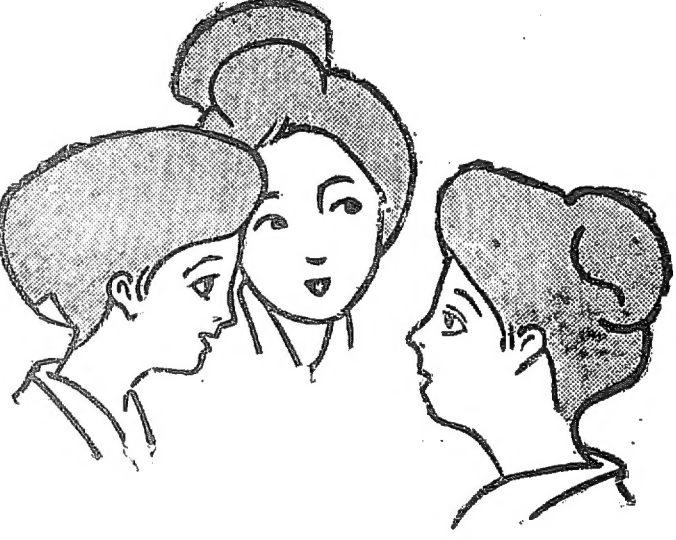
仁丹のハナガキ



今のむ仁丹は  
胃腸を強健にす

惡疫來る

時間の空費は大なる損失なり (西條)



三人よれば

折柄の暑さにお臺所仕事の氣の進まぬお話になりました  
「お牛様でも……」  
「えゝ妻の所でも」  
「あらッ、あなたのところでも」  
と期せずして味の素を御愛用なつてることがわかりました、削る手數も煮出す世話もなく即座においしいお料理が出来上りまして暑中でさへもらくに、庖丁の妙を振ふことが出来ずす、

文化的調味料  
味の素

原料は小

內科 小兒科  
外科 花柳病  
仁川 松本醫院  
大井國科當氣科  
電話三四五番

眼科  
金井眼科醫院  
京城若草町(新道沿河堤)  
若草町電一五五六  
入院隨意 日曜 祭日 修養牛曲中

内科一般 長谷川内科病院  
電話 岡山五〇四番  
元松村病院 六七四番  
入院隨意

東京齒科醫學士 天辰親  
仁川本町三丁目



を以て意味が出来る」と云ふやうな木の葉の燃ゆるの如きは、生れ即ち死に  
て燃へる一時的の指導するの弊はない。つて唐がけ斯う云ふは多分誤謬  
に於ける所の内でも、現在樹空（樹を空とした）の或は火が幾度か入つて  
は種々の状態も出て居るを鑑みて

いのでなくとも相當の點を施してある。

版世  
東に  
の出  
真な  
少年  
讀本

發行所  
二  
八六  
〇一  
番

硏究社

の國  
名地  
書本

香翰  
歐宋文具

楊居堂

依春  
色梅  
曆  
岡本  
綺堂

九月號 一部金七十錢  
大阪東谷町五丁目プラトン社發行  
義士討入 直木三十三  
眞田幽居 今 東光

岩井半四郎邦枝完二  
ワイが欲しい東健而  
お雪とお傳鈴木參郎  
骸骨お松圓玉  
懷勘定森曉紅

五月廿一日  
ダン トン 映畫物語  
月並な旅 岡本一平  
人形 和氣伸太郎  
川中島 竹林賢七  
加總理夫人 伊藤痴遊

池の端心中 生田 葵  
外二十數項

蝶花樓物語 吉井 勇

吉井先生に死んだ落語家成程のこと、落かしたなら、落物品としても、讀物としても天下に品。前説の序文から引つゝ、馬鹿が吉原の新橋御小町へ打込む。花の盛もすぎた四月の末、底の査問の審判から生れて、通稱頭へ入るの巻語。

世の中に落し男と云つたら先づ唐土唐土丹治郡にたゞ、何しろ女といふ怪物を二人までよく取扱つたにたゞから、こゝの唐土唐土に學がけして「異國風な女むき」を知ら。果報は輕微な子代部屋、輕微の唐土に日本武士、武士にあらず。重軍艦と云ふおむりやうなりを向直る。そゝ先防めつようなんて客な最見の露露に驚な奴であらうかい」と、鹽太さん一休何とするつもりか?

白子屋實説 小山内 薫

芝居に御馴染みの「櫻娘昔八丈」と「櫻結新二」、それ「實説」で行くともなうなるか? 芝居は白い、「男角歌は面白くない」と、そゝ思ふ人は本郷の「御雛み下さ

名がらしてゐる。六韜三略大卷に子仲不忠誠な娘想を以て知らるゝ、讀物外の第一人者。本號から一「幽部の中に入つて、小出出したる十年代文争ひが、

か も り見 弾

小節は一息に飲み乾すとさう又笑出した。「もうをんなに三ついゝこととさう返め  
る勝ちを取つて波つたさうだ、いぢやん、兄さん。」貴方私の技を鑑いて下さるこ  
ゝろやうな色氣を含めて、錦はもう二つお見せなす。垣根はたし胸の板を返さねば  
間にばよさうな、ギョウと錦はつづつとやうに痛むのを覺えて黙つて膝をついた  
てつた。「五分分けて、京散財に死なな手、肩にかかるとの、夢のやうに……」



東京に於て開催せよ

十六日附の本紙は、加藤首相は、東京に於て開催せよ、と云ふことを以て外交の能事と爲すや、と云ふ。然るに吾人の了解に於ては、東京に於て開催せよ、と云ふことは、加藤首相の意向を代表するものである。加藤首相は、東京に於て開催せよ、と云ふことを以て外交の能事と爲すや、と云ふ。然るに吾人の了解に於ては、東京に於て開催せよ、と云ふことは、加藤首相の意向を代表するものである。

日露交渉

日露交渉は、外務省は聊かあせり氣味、と云ふ。日露交渉は、外務省は聊かあせり氣味、と云ふ。日露交渉は、外務省は聊かあせり氣味、と云ふ。

地方財政の整理は

十四年度に於て一割五分乃至二割、と云ふ。地方財政の整理は、十四年度に於て一割五分乃至二割、と云ふ。地方財政の整理は、十四年度に於て一割五分乃至二割、と云ふ。

陸軍異動発表

陸軍異動発表、と云ふ。陸軍異動発表、と云ふ。陸軍異動発表、と云ふ。

日銀帳尻

日銀帳尻、と云ふ。日銀帳尻、と云ふ。日銀帳尻、と云ふ。

他客の容喙を許さぬ

他客の容喙を許さぬ、と云ふ。他客の容喙を許さぬ、と云ふ。他客の容喙を許さぬ、と云ふ。

永住する覚悟で

永住する覚悟で、と云ふ。永住する覚悟で、と云ふ。永住する覚悟で、と云ふ。

朝鮮のため貢献したい

朝鮮のため貢献したい、と云ふ。朝鮮のため貢献したい、と云ふ。朝鮮のため貢献したい、と云ふ。

鮮銀總會終る

鮮銀總會終る、と云ふ。鮮銀總會終る、と云ふ。鮮銀總會終る、と云ふ。

曉の鐘は鳴響く

曉の鐘は鳴響く、と云ふ。曉の鐘は鳴響く、と云ふ。曉の鐘は鳴響く、と云ふ。

戸別割の査定

戸別割の査定、と云ふ。戸別割の査定、と云ふ。戸別割の査定、と云ふ。

迎日郡の被害

迎日郡の被害、と云ふ。迎日郡の被害、と云ふ。迎日郡の被害、と云ふ。

日本移民に對し吾々は

日本移民に對し吾々は、と云ふ。日本移民に對し吾々は、と云ふ。日本移民に對し吾々は、と云ふ。

漁港用無線局

漁港用無線局、と云ふ。漁港用無線局、と云ふ。漁港用無線局、と云ふ。

公債の整理

公債の整理、と云ふ。公債の整理、と云ふ。公債の整理、と云ふ。

朝鮮のサバリ廉賣

朝鮮のサバリ廉賣、と云ふ。朝鮮のサバリ廉賣、と云ふ。朝鮮のサバリ廉賣、と云ふ。

旭屋旅館

旭屋旅館、と云ふ。旭屋旅館、と云ふ。旭屋旅館、と云ふ。

獨逸紙幣の括賣

獨逸紙幣の括賣、と云ふ。獨逸紙幣の括賣、と云ふ。獨逸紙幣の括賣、と云ふ。

東京市芝区田川町交又點

東京市芝区田川町交又點、と云ふ。東京市芝区田川町交又點、と云ふ。東京市芝区田川町交又點、と云ふ。

サナ

サナ、と云ふ。サナ、と云ふ。サナ、と云ふ。

朝鮮のサバリ廉賣

朝鮮のサバリ廉賣、と云ふ。朝鮮のサバリ廉賣、と云ふ。朝鮮のサバリ廉賣、と云ふ。

旭屋旅館

旭屋旅館、と云ふ。旭屋旅館、と云ふ。旭屋旅館、と云ふ。

獨逸紙幣の括賣

獨逸紙幣の括賣、と云ふ。獨逸紙幣の括賣、と云ふ。獨逸紙幣の括賣、と云ふ。

東京市芝区田川町交又點

東京市芝区田川町交又點、と云ふ。東京市芝区田川町交又點、と云ふ。東京市芝区田川町交又點、と云ふ。

サナ

サナ、と云ふ。サナ、と云ふ。サナ、と云ふ。







(47)

入江新八作  
近藤紫雲畫

[illegible]

野はもはや師者をもつてしても、  
 旅の終電もなく、また何處をもつ  
 ても代りなく、さび地になつた。  
 彼は、心に窮むる隙。  
 「ア、野は飛んだことをしてし  
 まういふ、見ない味をみまうい  
 へ聞くとは、旅には満足になな  
 かつてあつしやるのね。  
 たはた驚くつたのね」  
 「あなたは、今、星野君に逢  
 ったのね」

[illegible]

京日文苑

句題「蘇」  
脚題「垢」  
切八月卅一日  
金天一國半、地

[illegible][illegible][illegible]

大學藥

第十六

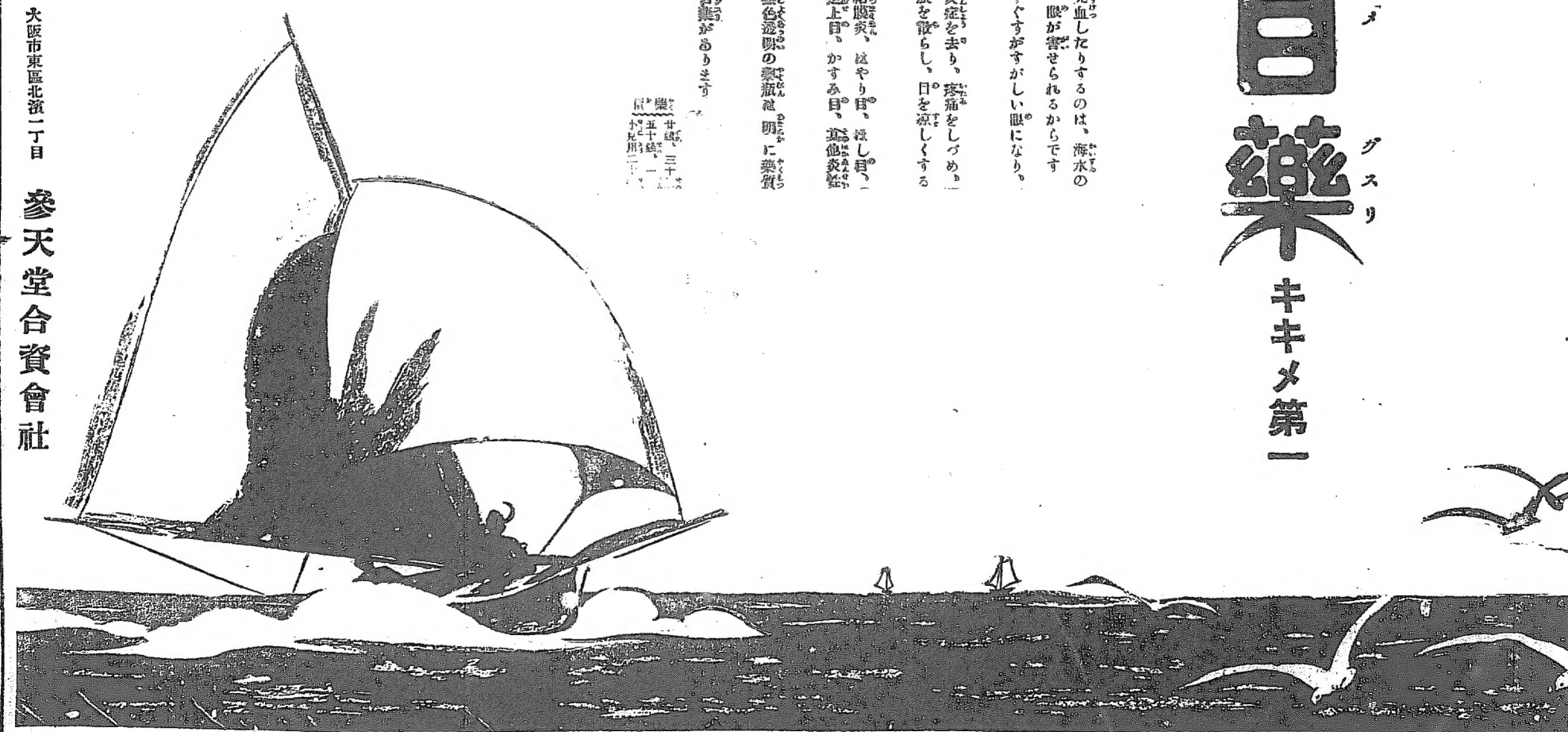
- 1 海水浴をする。眼が痛んだり、充血したりするのは、海水の刺激と強烈な日光の反射のために、眼が害せられるからです
- 2 そんな時に、大學目薬をさせば、すぐすがすがしい眼になります。眼病を未然に防ぐ事が出来ます
- 3 それは、大學目薬が殺菌力強く、炎症を去り、疼痛をしづめ、刺激を和らげ、分泌物を潤し、腫脹を散らし、目を涼しくする靈能を有するからであります
- 4 故に、大學目薬は、トラホーム、結膜炎、はやり目、はし目、霰目、血目、たれ目、打撲目、逆上目、かすみ目、其他炎症諸症に秘効を奏するのであります
- 5 點眼後、安全手鏡に類なく、無色透明の薬液は、明に薬質の永久不変性を示しており、ます
- 6 分泌眼の下小兒には、小兒用大學目薬があり、ます

# 衛生相談部の新設

我社は我社の製劑に對して倦くまで責任を  
つ事を表明し、需要者各位の御便利を圖り、  
て社會奉仕の一端に表し、度く遠より適當  
方法を計劃して居りましたが、今回家康會  
と社會醫學に造詣深き醫學博士小田俊三  
を特に煩し、氏を部長として本社内に藥  
劑部を開設致しました。

我社の製劑に就ての御質問を受けるのが主  
でありますけれ共、需要者各位の御便宜のた  
に一切無料で一般衛生上の御質問にも喜んで  
應じます。

御質問の内容や御姓名は秘密事項として極  
に取扱ひますから御遠慮なく御利用下さい  
小田博士擔任の下に懇切に御答へ致します  
質問は封書で委しく願ひます。(當分診療は  
しません)



大阪市東區北濱二丁目

[illegible]